



沖縄修学旅行まであと一ヵ月ですね。

毎年のことですがグランド北側の金木犀が今年も秋の訪れをしっかりと伝えてくれ、でも 25℃を超える日もあって、いまだポロシャツの生徒もチラホラ見かけますがようやく長袖とセーターの季節になりました。

さて、今月(10月)、私の SNS に飛び込んできた最大のニュースは「紫金山・アトラス彗星」です。この彗星は昨年発見され、今年 10 月には地球へ最接近「肉眼で観測可能」との予測通りに、10/10 頃から西の夜空にその姿を見せてくれました(←過去形)。「昨年発見!?!えっ知らんけど!」の状態なので、明るさのピークを逃しておりましたが、まだなんとか肉眼でも見える明るさで写真も撮れるということで、山の師匠であり天体写真の腕も持っているH先輩の指導の下、人生初の「彗星撮影」に初チャレンジしてきました。晴れた夕方は 10/20 のワンチャンのみでしたので、先輩と二人ハケ岳の山の中まで行ってきました。54 歳にして初の星空撮影でしたので双眼鏡では見えてもなかなかカメラのファインダーに捉えることができず、「次 8 万年後」のプレッシャーもあり(笑)、気温 8 度なのにもかかわらず久しぶりに「冷や汗」をかきましたが、カメラの ISO 設定を修正して初めて撮影できた瞬間には「トリハダ」もんで久しぶりの感動でした! デジタルなので何百枚も撮影可能でしかもその場で確認もできる時代で本当に良かったです! これがフィルム時代だったら真っ暗な写真を 36 枚撮って「はい終了」でしたね。掲載したのは調子によって翌日も撮影した甲斐駒ヶ岳とのコラボです!



(↑ぜひ HP で見てください)

一昨年に「初」北アルプスを体験し、昨年 5 月には「3 年以内に槍ヶ岳!」なんて年次だよりにも書きましたが、膝の調子が悪く今年はお山に登っていませんでした。このまま「老い=できないことが増えていく」のかなあ...なんて思っただけでしたが、ここにきて久しぶりの「初」モノ体験! H先輩と一緒に徐々にテンション爆アゲ! でした。やっぱり「やりたいことはやってみる」って大事ですね。家には末組のプラモデルが山積みです。こちら時間も製作時間を作らねば! です(笑)。

沖縄修学旅行まであと「32日(10/31 曜)」ですね。クラス別や班別行動の計画も順調のようで、楽しみは膨らんでいくばかりですね。中には初沖縄の生徒さんもおられます。食べてみたいものや行ってみたい所など、「初」からの感動体験をひとつでも増やしてほしいと思います。

2年次主任 三井 恒弘

◎11月行事予定 ～18日から第3回定期試験! 修学旅行関係は11日「平和講話」30日「結団式」～

日	曜	予 定	日	曜	予 定
1	金	B ベネッセ総合学カテスト(2)	16	土	
2	土	ベネッセ総合学カテスト(1,2)	17	日	
3	日	祝 文化の日	18	月	行 第3回定期試験
4	月	祝 振替休日	19	火	行 第3回定期試験 マナーアップ運動④
5	火	A 履修本登録提出締切	20	水	家 県民の日
6	水	A 週礼 年次会議	21	木	行 第3回定期試験
7	木	A 県芸術文化祭パレード・グランドステージ	22	金	行 第3回定期試験
8	金	A 校外清掃・ヒーター試運転 冬季原付免許取得説明会	23	土	祝 勤労感謝の日
9	土	土曜講座(1,2)	24	日	
10	日		25	月	家 定期試験成績処理日
11	月	B 修学旅行事前学習「平和講話」 第3回定期試験時間割発表	26	火	A
12	火	B	27	水	A
13	水	B 職員会議・週礼 生徒協議会	28	木	A 総探講演会(1・2)
14	木	B	29	金	A 原付免許取得者集会
15	金	B	30	土	修学旅行結団式(2)

11/11「平和講話」講師：高野 裕先生(元池田小学校校長先生)をお迎えします。

11/30「修学旅行結団式」につきましては後日詳細を連絡いたします。

保護者のみなさまへ 「修学旅行(沖縄方面)(12/2~5, 3泊4日)」につきまして、おおまかな旅行の内容および服装につきましては過日お知らせしましたが、スーツケース等の大きな荷物について今回は事前発送ではなく、旅行当日一緒に羽田に向かう予定です。この件とともに出発・帰着時の送迎など詳細につきまして、後日「修学旅行のお知らせ(2)」にて連絡します。準備期間もあと一ヵ月と迫っており、保護者の皆様にもご協力いただかねばならない点多々あるかと思っております。よろしくお願いいたします。

=====
今月号から年次の先生方からも皆さんへメッセージをお送りします。今月は1組の小林万里子先生と天野 圭先生です。
=====

『 修学旅行の思い出 』

高校の修学旅行では、ホテルのロビーに正座をさせられたことが1番の思い出です。どんな悪さをしたかって？ 京都での班別自由見学で、はしゃぎすぎた私達は集合時間に大幅に遅れたのです。予定していたバスに乗り遅れ、焦ってタクシーでホテルに着いた時、玄関で仁王立ちして待ち構えていた担任の先生の顔と、ロビーに敷かれたカーペットの赤い色と、足のしびれは今でも忘れられません。隣で正座をしていた友達は、素直ないい子なので、大粒の涙を流して反省していましたが、大人が嫌いで世界が自分中心に回っていた当時の私は、「きつと夕食の時間には解放してくれるだろう」と考えながら、足のしびれと格闘している可愛くない生徒でした。



コドモだった私も、高校を卒業し、個人旅行をしたり、海外旅行のツアーに参加するようになって、ようやく団体で旅行することのルールや「修学旅行」とはどんな「旅行」なのか、理解できるようになりました。旅行は「非日常」の世界に飛び込むことなので、どうしても気分が高揚します。まして高校の修学旅行ならなおさらです。でも、この気分の高揚は時として「スキ」となり、トラブルを招く元になります。(海外旅行ではパスポートの紛失やスリなどに繋がります。)あの時の私は時間に遅れただけで、幸いトラブルには巻き込まれませんでした。何かあってもおかしくなかったと今は思います。

沖縄は、パスポートのいらない外国だと私は思っています。気候・食べ物・言葉、そして歴史。あらゆる点で「日本的」ではない、中国や台湾、東南アジアの国々、そしてアメリカの雰囲気を感じられる所です。皆さんには是非五感をフル活用して沖縄を味わい、そして色々と考えてほしいと思います(特に沖縄戦と基地問題。基地については、現在の沖縄周辺での軍事的な緊張が高まる中で、どうしていくのが良いのか。米軍はやはり必要なのか、自衛隊に頼るのか、ならば憲法は改正すべきなのか等々…。)。ただし、ウキウキした気持ちと背中合わせにトラブルが存在していることを、お忘れなく！

1組担任 小林 万里子

『 自分だけがもっているもの 』



こんにちは。天野です。皆さん、断捨離をしたことはありますか？私は数十年前に大規模な断捨離を行いました。取っておくか少し悩むものは思い切って捨てた結果、ミニマリスト一歩手前になった記憶があります。断捨離の中で「これは捨てられねえなあ」というものがありました。一つ目は「万華鏡」です。万華鏡作家の細野朝士さんの作品です。内部にオイルが含まれており、滑らかに形状が変化していきます。もはや宇宙。二つ目は「オルゴール」です。曲はバッハのG線上のアリアで、比較的長く演奏してくれるものです。最後はチェロです。これらに共通する点があることに気がつきました。それは「電気を使わない」という点です。手に入れた時にはそのことを意識していませんでしたが、意識下では重要視していたのかもしれない。日常において電気は必要不可欠です。しかし、電気を使わない「ハンドメイド」の存在は制限された状況下でも人の心を豊かにし続けています。

話を絵画に置き換えてみます。「Colorado State Fair」(2022)においてAIが生成した作品が最高賞を受賞しました。賛否両論ありましたが、作者は画像生成 AI プログラム Midjourney を駆使し作品を完成させました。試行錯誤を行った点では AI をツールとした新たな表現手法としての芸術作品だと思います。しかし、ハンドメイドによる作品には3Dプリンタでも表現しきれない「その芸術家特有の色使いや質感表現」があります。これは表面的に模倣できても微細なニュアンスや作品全体の雰囲気を他者が再現することはできません。つまりハンドメイドの作品とは、作者だけが獲得してきた知識や技術、経験などが表出した唯一無二の表現と言えます。経験、技術の程度に関わらず、間違いなくその人だけが持っている力です。もしかしたら、それが自分の強みになるとも考えられます。

絵画を例に挙げましたが、日常における自分のあらゆる活動や表現を主観的かつ客観的に時々振り返ってみることが大切だと思っています(できれば深く分析)。もしかしたら、今まで気がつかなかった「自分にしかない強み」を発見し、それが生きていく上での武器になるかもしれません。

1組副担任 天野 圭